



【学校教育目標】

Treasure Island

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



明けましておめでとうございます

何となく 今年はいい事あるごとし
元日の朝 晴れて風なし

清々しい新年の歌ですね。長崎の元日の空は晴れ渡っていました。まさにこの歌の心境でした。これは、石川啄木の歌です。歌は心地よく力強いのですが、この前年、啄木は職を失い、家族は病気、生まれたばかりの我が子を亡くすという境遇にあったといわれます。それでも「新しい年明け」には、明るい希望を感じさせる力があることを教えてください。

私たちの日常に目を移すと、物価の高騰や物騒な闇バイト強盗事件、相変わらず終わりの見えない世界的な紛争等、子供たちを取り巻く現代社会は不安定で不穏です。けれど、だからこそ、新しい年には明るい希望をもって「今年はいい事あるごとし」と歌いたいものです。

一番の希望は目の前にあります。それは子供たちの笑顔です。子供たちそのものが「未来の希望」であると感じています。3学期もしっかりと希望の種を育ててまいります。今年もどうぞよろしくお祈りします。

発気揚々！

3学期の高島小中学校のテーマを「発気揚々」と定め、始業式で子供たちに伝えました。「発気揚々」、初めてこの言葉を聞かれた方も多いのではないのでしょうか。でも実は、子供でも知っているあの「掛け声」のもとになった言葉だそうです。それは、そう！相撲の「はっけよい」です。諸説あるそうですが、「発気揚々（はっきようよう）」がなまって「はっけよい」となったのではないかと言われています。

この「発気揚々」は「体中の気力を出して、よく考えて、工夫して勝負しなさい」と言っています。相撲はもちろん、スポーツはもとより、勉強する時や何か大事なことに直面した時にも大切なことだと感じます。子供たちには、

2学期までに学んだことをもとに、「よ～し、やるぞ！」という強い気持ち、そして「計画や作戦」をしっかり考えて準備・実践することが大切です。皆さんの新年・新学期はこれから始まります。今の自分をさらに大きく、一回りも二回りも成長させるために、「発気揚々」3学期を過ごしていきましょう。

と伝えました。